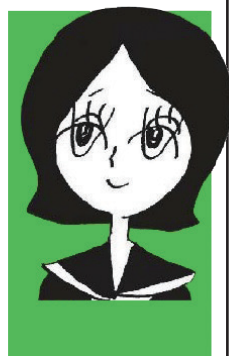




原作となったのは、生まれも育ちも蒲郡の漫画家大橋裕之さんがデビュー前に自費出版で描いた「ゾッキ」。「ゾッキ」の語源は、ひとくくりやひとまとめという意味から来ており、原作は「A」(第1巻)と、「B」(第2巻)合わせて約30編の短編漫画が収録されています。

何とも言えない世界観の大橋作品には、各界でも根強いファンが多く、3監督もそのうちに含まれます。

原作の作者は蒲郡出身漫画家
大橋裕之さん



映画「ゾッキ」

日本を代表する名俳優竹中直人さん・山田孝之さん・齊藤工さんの3人が、監督として蒲郡が舞台となる映画を制作します。知る人ぞ知る蒲郡の魅力満載の映画の制作にせまります。

シティセールス推進室
☎ 66-1120



大橋 裕之さん

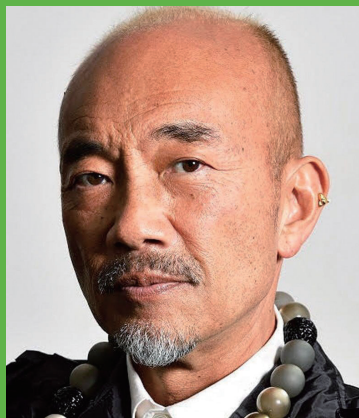
このたび、僕の漫画が実写映画化されることになり、撮影を故郷の蒲郡市で行われることが発表されました。子どものころから見慣れた街並みが映画の中に落とし込まれると思うと、今からワクワクしています。僕の原作が若干おかしな物語なので、映画がよりおかしく強力な作品になって皆さんに届いたら嬉しいです。

監督紹介



山田 孝之さん

初めてゾッキを読んだ時の衝撃、感動、恐怖、希望。それらを自分なりの表現で伝える。怖くもあるけれど、ゲボが出るほど楽しみです。監督のイメージはあるものの監督をしたことがない僕ですが、竹中監督、齊藤監督と協力して心を刺激する作品に仕上げたいと思います。



竹中 直人さん

まさかこんなときがくるなんて…大ファンだった大橋裕之さんの作品を映画にすることができるなんて…。まるで夢のまた夢のようなできごとです。僕が感じた大橋さんの世界をどこまで映像化できるのか…この思いに集まって来てくれた方々と夢中になって作ります!



齊藤 工さん

監督陣がやや派手な門構えに見えるかもしれませんが、作品至上主義の映画人が集まっていて、大橋裕之さんの最高すぎる原作に忠実に、かつ実写ならではの裏切りを行いたいと思っています。このプロジェクトの発起人である竹中直人さん、そして、この作品に関わるきっかけをくださった前野朋哉さんに心から感謝します。